

## ① ナビゲーション

外国人や空港・ターミナル駅等に不慣れな方が、円滑に移動や乗り継ぎを行うことができるとともに、屋外目的地へシームレスに移動できるようになる。

例) 東京オリンピック開催時に、空港～ターミナル駅～宿泊場所～オリンピック会場～周遊先という来日から離日までの一体的な多言語・観光案内ナビゲーションサービス提供の基盤となる

### 現在



改札を出たが行き方が分からず、案内標識前でスマホ等を見ながら滞留

地下



地下の駅改札から出て地上の目的バス停まで  
地上・地下シームレス・ピンポイントにナビゲーション

地上



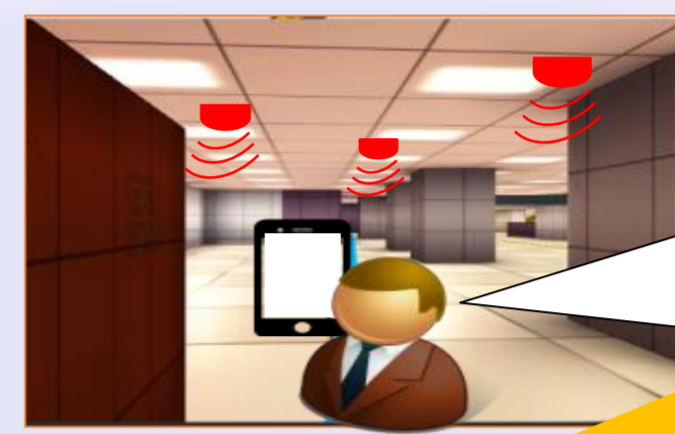
### 将来 (目指すサービス例)

空港



出発時/空港到着時に多言語・観光案内一体ナビアプリのインストール

主要駅

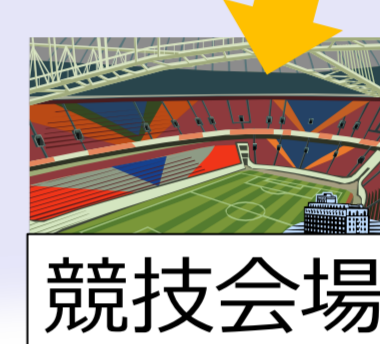


屋内外問わず、自分の位置、目的地までの経路が詳細にわかる

屋内外目的地へシームレスに移動



観光地等  
多言語で場所に応じた観光案内



競技会場  
競技会場の自分の座席まで案内



宿泊地



車いす、ベビーカー、視覚障害者等が、円滑に移動できる経路の案内

個人の嗜好等に合わせた飲食店などを案内

個人の属性に応じたサービス提供

## ② 防災・減災

地上にいても、地下にいても、災害発生時に適切な情報を受け取ることができるとともに、自分の位置に応じた適切な避難場所に避難できるようになる。

例) 東京オリンピック開催時に、首都直下地震が発生した際、近隣の帰宅困難者受入可能な施設への避難誘導情報提供の基盤となる

### 現在



(写真) 警視庁HP

災害発生時に適切な情報が受け取ることができず、人が集中し駅等では大混雑

### 将来 (目指すサービス例)

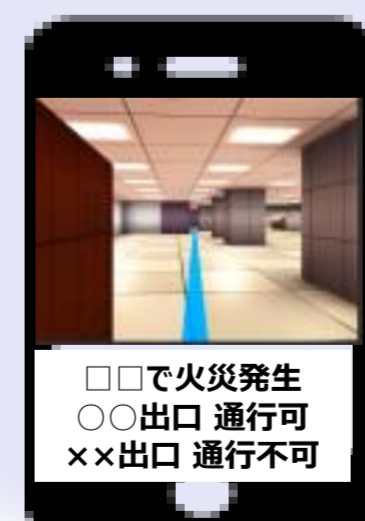
① ○○帰宅困難者一時受入施設  
現在地より○○m

② ××帰宅困難者一時受入施設  
現在地より○○m

現在地  
東京駅○階  
○○フロア

③ △△帰宅困難者一時受入施設  
現在地より○○m

屋内外どこにいても現在地に応じた帰宅困難者一時受入施設の場所、経路等の情報を提供する



発災箇所と通行可能箇所から避難を誘導  
災害時に取り残された人の位置を把握し、救助活動を支援

避難誘導支援・災害救助支援